

## 5. 今月のトピックス「QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)によるイネいもち病防除の注意点について

### ◆イネいもち病における殺菌剤耐性菌の発生防止対策、その背景◆

昨年度、県外において、QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤。表 1 参照)耐性イネいもち病菌(以下、耐性菌)の発生が確認されました。

三重県内では現在のところ、耐性菌の発生は確認されていません。

表1 イネいもち病を対象としたQoI剤(ストロビルリン剤) ※最大年1回の使用としましょう

薬剤の分類	有効成分名	商品名の例
菌11	アゾキシストロビン	アミスター
	オリサストロビン	嵐
	メミノストロビン	イモチエース、イモチミン、オリブライト、オリザトップ

薬剤の分類はFRAC Code List(2012年2月現在)による。

QoI 剤はイネいもち病に対する防除効果が高く、優れた薬剤であり、県内でも広い面積で使用されています。しかし、QoI 剤は耐性菌の発生する危険性が高いと言われています。

三重県では、平成 18 年に MBI-D 剤(商品名 ウィン、デラウス、アチーブ)の耐性菌が確認され、使用を控えた経緯があります。QoI 剤を適切に使用することにより、優れた効果を持続させるよう努めましょう。

表2 イネいもち病を対象としたQoI剤以外の農薬

薬剤の分類	有効成分名	商品名の例
菌P (抵抗性誘導剤)	プロベナゾール	オリゼメート、Dr.オリゼ、ビルダー、ジャッジ
	チアジニル	ブイゲット、アプライ
	イソチアニル	ルーチン、スタウト、ツインターボ
菌16.1	トリシクラゾール	ビーム、ラテラ
	ピロキロン	コラトップ
	フサライド	ラブサイド
菌6	IBP	キタジンP
	イソプロチオラン	フジワン、 (ピロキロンとの混合剤)ピカピカ、フジトップ

### ◆イネいもち病防除における QoI 剤耐性菌の発生を未然に防ぐための注意点◆

1) QoI 剤の使用は最大年 1 回までとし、採種圃場での使用禁止を再度徹底しましょう。

2) 長期持続型 QoI 剤の育苗箱処理は、耐性菌の選択圧を高める要因の一つとして考えられています。できる限り、作用機構の異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクの低い薬剤(菌 P 抵抗性誘導剤 表 2)を選択しましょう。

3) QoI 剤を本田で散布する場合、葉いもちに対しては初発前あるいは発生初期に、穂いもちに対しては薬剤の使用適期に散布しましょう。

4) 健全種子の使用、塩水選や種子消毒の徹底、圃場衛生管理など、いもち病防除の基本となる防除対策を徹底しましょう。

5) 種子は、できるだけ耐性菌の確認されていない県(三重県では確認されていません)で生産されたものを使用しましょう。やむを得ず、耐性菌の発生が確認された県で生産された種子を用いるときは、QoI 剤と作用機構の異なる薬剤で防除してください(表 2)。

6) 以上の取り組みを地域一帯となって実施しましょう。

7) QoI 剤を使用したにもかかわらず、効果が著しく低かった場合は、病虫害防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へご連絡ください。

(表2 続き) イネいもち病を対象としたQoI剤以外の農薬

薬剤の分類	有効成分名	商品名の例
菌U14	フェリムゾン	(フサライドとの混合剤)ブラシン、 (トリシクラゾールとの混合剤)ノンプラス
菌24	カスガマイシン	カスミン、 (トリシクラゾールとの混合剤)ゲットワンエース、ダブルカット
菌1	チオファネートメチル	トップジンM
	ベノミル	ベンレート

薬剤の分類はFRAC Code List(2012年2月現在)による。